

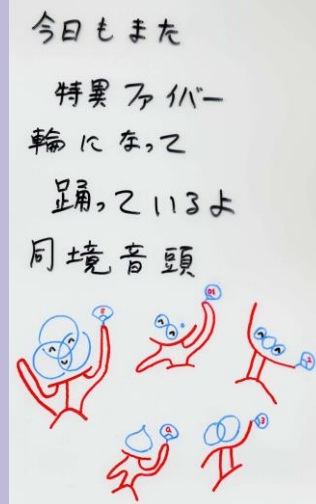
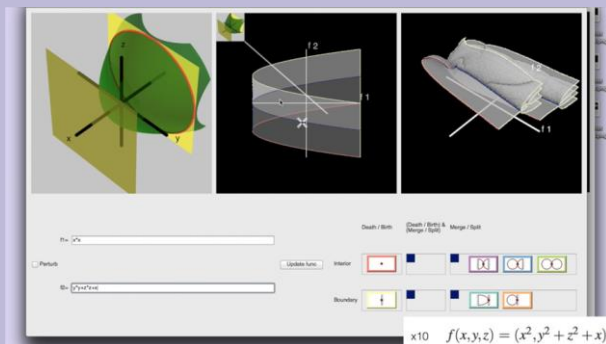
佐伯 修 氏

(九州大学マス・フォア・インダストリ研究所)



微分トポロジーを用いたデータの可視化

実験や計測、あるいはシミュレーションで得られるデータは、数学的には、ある平面領域や空間上の関数や写像の離散サンプルデータと解釈できることが多い。さらには、そのような関数はしばしば微分可能である。そうした微分可能な関数や写像を扱う理論的枠組みが数学にはいくつかあるが、ここでは微分トポロジー、特に写像の特異点論の枠組みについて簡単に解説し、それがどのようにデータ可視化に応用できるかについて概説する。さらに、そうしたデータ可視化手法が、数学の研究へフィードバックされた例についても紹介したい。



↓参加登録はこちら↓



12月6日 (水) 17:00-18:30

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館303教室, ハイブリッド開催

参加ご希望の方は、右上のQRコードより参加登録をお願いいたします。

参加費無料 **登録締切: 12/5(火)**
 国際展示場駅 徒歩7分
 東京ビッグサイト駅 徒歩6分


コーディネーター: 時弘 哲治 (武蔵野大学工学部数理工学科 教授)

問い合わせ先: 武蔵野大学数理工学センター

https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World